

6月中旬出荷キンギョソウの品種特性および夏季の露地観賞性評価

山本陽平・岡澤立夫

(園芸技術科)

【要約】キンギョソウ6月中旬出荷作型ではポット時には「F₁ スナップショット イエロー」が有望である。露地定植では開花数の推移の傾向が異なる品種を組み合わせることで、夏季を通じて観賞性を保つ植栽を可能にする。

【目的】

キンギョソウは春～初夏の花壇の定番品目である。長雨や多湿に弱い暑さには強いとされており、初夏以降の夏季花壇での需要拡大が期待されている。そこで、6月中旬出荷作型の出荷時の品種特性および露地定植後の観賞性を調査し、夏花として有望な品種を明らかにする。

【方法】

2019年3月14日に、12品種(表1)を播種用培土(TM-2)を充填した406穴セルトレイに播種し、同年4月19日に3.5号黒ポリポットへ1本植えて各品種80株を鉢上げした。鉢上げ用土は赤土:腐葉土:ピートモス=5:3:2(容積比)の混合用土とし、基肥は用土100Lあたり被覆複合肥料14-12-14(エコロング424-100タイプ)=300g、化成肥料6-40-6(マグアンプK中粒)=200g、過リン酸石灰0-17-0=250g(用土100L当たり成分量でN=54g, P₂O₅=54g, K₂O=54g)を予め施用した。6月13日にポット苗の品質調査を行い、6月14日に露地定植を行った。試験区は80株の中から中間的な生育を示した株を選んで1区6株の2反復とし、以降の花数の推移を調査した。

【成果の概要】

1. ポットの調査では「F₁ スナップショット イエロー」(図1)が、株の揃い、縦横比、花数の観点から特に優れていた。「F₁ スナップショット バーガンディバイカラー、ローズ」なども、株張、株高ともに全体の平均値(それぞれ23.9cm, 22.6cm)に近い値を示しており、縦横比が1に近く球形の草姿をしていた。花数には品種によってバラつきがあったが極端に少ないものはなく、観賞性を大きく低下させるほどではなかった(表1)。
2. 全ての品種で露地定植後の生育の傾向には大きな差がなかった(データ略)。期間を通じて観賞性は、全ての品種で継続した。花数の推移には、3種類の傾向が存在し、花数が一時的にほぼ0になる品種がある一方で、定植直後よりは数を減らしながらも常にある程度の花数を保つ品種もあった(図2)。このことから、夏花壇への植栽には開花数のピークの多いタイプ①の品種と常に一定数の開花が確保されているタイプ②の品種を組み合わせることが、観賞性を保つ上では有効だと考えられる。ポット調査で評価の高かった品種は全てタイプ①か②に属しており、これらの利用が有効だと考えられる。

【残された課題・成果の活用・留意点】

1. キンギョソウの夏花壇への利用では、株高・株張が中程度で揃いの良い品種を組み合わせることで、観賞性を維持した花壇が実現できると考えられる。

表1 露地定植直前の供試品種の評価

番号	品種名	種苗会社 ^a	株張 ^b (cm)	株高 (cm)	花数 (輪)	揃い ^c	縦横比 ^d	花数 ^e	評価 ^f
1	キャンディートップス イエロー	サ	21.7	25.5	35.0	×	△	○	
2	キャンディートップス オレンジ	サ	21.8	28.0	56.2	△	△	○	
3	キャンディートップス ローズ	サ	20.8	27.2	47.0	△	×	○	
4	フローラルシャワー コーラルバイカラー	サ	30.3	19.3	23.2	△	×	△	
5	F ₁ スナップショット アップルブロッサム	ミ	24.3	22.0	32.1	△	○	○	○
6	F ₁ スナップショット イエロー	ミ	22.9	21.3	38.5	○	○	○	◎
7	F ₁ スナップショット コーラルバイカラー	ミ	22.4	21.8	30.4	△	○	○	○
8	F ₁ スナップショット バーガンディバイカラー	ミ	23.0	23.9	37.0	△	○	○	○
9	F ₁ スナップショット ピンク	ミ	27.9	20.9	28.6	○	×	△	
10	F ₁ スナップショット ホワイト	ミ	24.7	21.2	33.8	○	△	○	○
11	F ₁ スナップショット レッドバイカラー	ミ	22.4	20.2	35.1	△	○	○	○
12	F ₁ スナップショット ローズ	ミ	23.7	22.4	37.0	△	○	○	○

a) サ：(株) サカタのタネ， ミ：(株) ミヨシグループ

b) 株張・株高・花数は，露地定植の前日（6月13日）に1品種12株について測定した値

c) 6月13日時点での，1品種80株について株張・株高の変動係数をもとに評価

d) ○：株高/株張の値が1±0.1の範囲内，△：株高/株張の値が1±0.2の範囲内，×：それ以外

e) ○：花数が30輪以上，△：花数が30輪より少ない

f) ◎：揃い，縦横比，花数全ての評価が○，○：揃い，縦横比，花数のうち二つの項目で評価が○



図1 有望品種

左から，「F₁ スナップショット イエロー」「F₁ スナップショット バーガンディバイカラー」
「F₁ スナップショット ローズ」

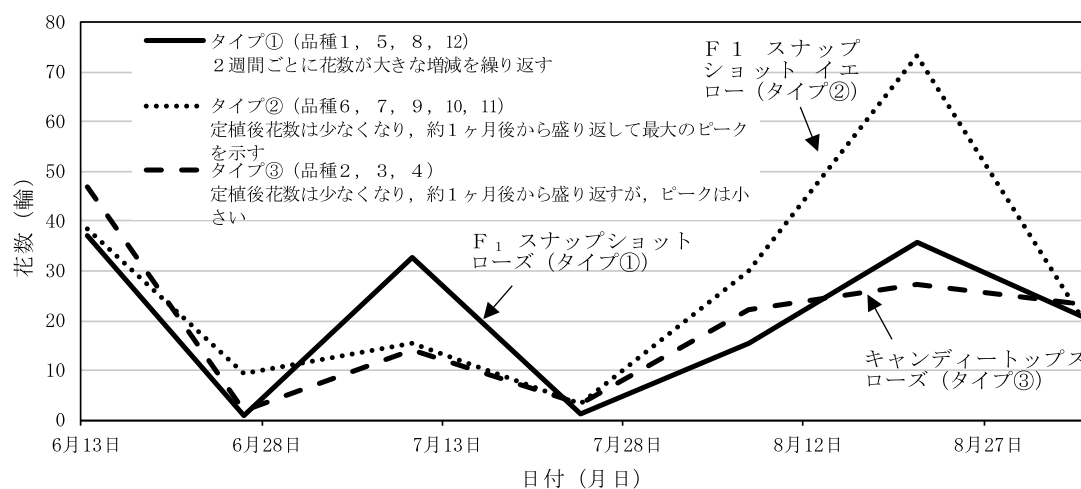


図2 花数の推移の類型